

産科・婦人科



診療科長
高倉 賢二

専門医資格等 日本産科婦人科学会専門医
日本婦人科腫瘍学会専門医
日本産科婦人科内視鏡学会腹腔鏡技術認定医
京都大学医学部臨床教授
三重大学医学部客員教授
関西医科大学臨床教授

専門分野 婦人科腫瘍
産婦人科手術
内分泌疾患の診断治療
不妊症の診断治療

□ スタッフ

平成24年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医療情報部長	北岡 有喜	日本産科婦人科学会専門医・京都大学医学博士	生殖分子生理学・医療情報学・情報システム学	
婦人科医長	徳重 誠	日本産科婦人科学会専門医・日本産婦人科内視鏡学会技術認定医・母体保護法指定医・日本内視鏡外科学会技術認定医	婦人科一般	腹腔鏡下手術
産科医長	山本 紳一	日本産科婦人科学会専門医・母体保護法指定医・京都大学 医学博士	産科一般	周産期
婦人科医長 外来医長	高尾 由美	日本産科婦人科学会専門医・京都大学医学博士	産婦人科一般	婦人科腫瘍
産科医長 産科病棟 医 長	江川 晴人	日本産科婦人科学会専門医・京都大学 医学博士・日本周産期新生児医学会専門医制度暫定指導医・京都大学 非常勤講師	産婦人科一般	周産期・更年期・腹腔鏡下手術
婦人科病棟 医 長	関山健太郎	日本産科婦人科学会専門医・婦人科腫瘍専門医	産婦人科一般	婦人科腫瘍・腹腔鏡下手術
医 師	伊藤 美幸	日本産科婦人科学会専門医	産婦人科一般	腹腔鏡下手術・更年期
医 師	山西優紀夫	日本産科婦人科学会専門医	産婦人科一般	婦人科腫瘍
専 修 医	今井更衣子		産婦人科一般	
専 修 医	上田 優輔		産婦人科一般	
専 修 医	坂田亜希子		産婦人科一般	

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本婦人科腫瘍学会認定施設 日本周産期・新生児医学会 母体・胎児専門医制度研修施設(指定)
-------	---

～産科～

安全で、妊婦さんひとりひとりが心から満足のいく分娩を、ということが私たちのモットーです。

女性にとって、お産は重要なイベントです。そして、それぞれのお産についての妊産婦さんの考えや要望は年々変化してきています。私たちは、お産の質の向上、および医療者側のお産に対する的確な対応が、ますます

大切なものとなってきていると考えています。

～婦人科～

女性の社会進出に伴い、外来治療や低侵襲手術（腹腔鏡手術や腔式手術、小開腹手術）を推進し、早期の社会復帰を目指します。充実した診療スタッフにより、幅広い婦人科疾患に対して対応可能です。特に、婦人科がんに対してハイレベルな診療を行います。

□ 診療(業務)内容

～産科～

1. 妊婦健診では、一般的な健診のみならず、病棟助産師が立ち会い、継続して保健指導を行い、生活指導なども適宜行っています。
2. 分娩(出産)は、自然分娩を尊重しながらも、合併症や急変に対しても、小児科(NICU)・内科・麻酔科などとも連携をとり、チームワークで対応します。
3. 産前・産後の母乳ケアを行い、母乳育児をサポートします。
年間約600例の分娩を取り扱っています。周産期救急搬送(母体搬送)の受け入れ件数は37件で地域の周産期医療にも貢献しています。なによりも安全で安心なお産を提供します。

～婦人科～

1. 治療前のインフォームド・コンセントを重視します
十分な説明を行い、納得いただいたうえで治療を行うことにより、満足の得られる医療を行うことを診療のモットーとしています。また、疾患について画一化された治療を行うのではなく、それぞれの患者さんの身体的・精神的・社会的状況や希望なども十分ふまえたうえで治療方針を決定します。
2. 幅広い婦人科疾患に対応します
充実した診療スタッフにより、良性疾患から悪性疾患まで幅広い婦人科疾患に対応可能です。
3. 低侵襲手術を行います
女性の社会進出に伴い、入院期間・自宅療養期間の短縮が求められています。そのような社会のニーズに応えるため、悪性(癌)の疑いの無い腫瘍に対しては、原則として低侵襲手術(腹腔鏡下手術、腔式手術、小開腹手術)を行い、早期の社会復帰を目指します。
4. 悪性腫瘍に対してハイレベルな診療を行います
京都府のがん診療拠点病院および日本婦人科腫瘍学会認定施設に指定されており、悪性腫瘍に対する診療経験が豊富にあります。常に最新の情報に基づいて、他科と連携してハイレベルな治療を行います。子宮頸癌に対する神経温存広汎性子宮全摘術に関しては2007年から先駆けて行っています。卵巣癌、子宮体癌に対しても、傍大動脈リンパ節郭清までの必要十分な手術を行う一方で、緻密な出血量の少ない手術操作により術後合併症を回避し、術後早期回復をはかります。リンパ浮腫専門外来を擁し、退院後のQOLにも配慮した診療を行います。
5. 更年期からの健康管理を推進します
直面する超高齢化社会においては、元気な老後を迎えられるよう更年期(50歳前後)からの健康管理がますます重要となります。女性特有の健康変化に対応するため、新たに更年期・骨粗鬆症外来を開設し、更年期からの健康管理を推進します。

□ 診療実績(平成24年度)

産科入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
16.4名	681名	8.8日

産科外来患者数

1日平均患者数
17.3名

婦人科入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
23.8名	923名	9.4日

婦人科外来患者数

1日平均患者数
55.8名

主な手術・検査の件数など

分娩件数	帝王切開件数	婦人科開腹手術	悪性腫瘍手術
597件	225件	226件	64件
腹腔鏡下手術	腔式手術		
91件	171件		

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

区分	学会名・演題・演者
国内学会	第12回近畿産婦人科内視鏡手術研究会「妊娠中の破裂により臓側腹膜に固定された成熟嚢胞性奇形腫の1例」上田優輔、徳重誠、関山健太郎、坂田亜希子、今井更衣子、山西優紀夫、江川晴人、高尾由美、北岡有喜、山本伸一、高倉賢二。2012年2月5日。大阪市
国内学会	第126回近畿産科婦人科学会学術集会「Cushing症候群合併妊娠の一症例」今井更衣子、坂田亜希子、上田優輔、山西優紀夫、関山健太郎、江川晴人、高尾由美、山本伸一、北岡有喜、徳重誠、高倉賢二、(難波多挙)、(垣田真以子)。2012年6月16日。大阪市
国内学会	第21回京都糖尿病医学会学術講演会「妊娠糖尿病治療の標準化と胎内環境コホートに関する研究」上田優輔、山本伸一、(坂根直樹)、坂田亜希子、今井更衣子、山西優紀夫、伊藤美幸、関山健太郎、江川晴人、高尾由美、北岡有喜、徳重誠、(山田和範)、高倉賢二。2012年6月30日。京都市
国内学会	第13回JSAWI(Japanese Society for the Advancement of Women's Imaging) 2012「成熟嚢胞性奇形腫の悪性転化においてPET-CTが診断に有用であった一例」今井更衣子、関山健太郎、坂田亜希子、上田優輔、山西優紀夫、伊藤美幸、江川晴人、高尾由美、山本伸一、北岡有喜、徳重誠、高倉賢二。2012年9月21日。淡路市
国際学会	IGCS(International Gynecologic Cancer Society) 2012, Vancouver, Young Doctor's Summit, Training and Career Development(panel discussion)Sekiyama K.
国内学会	京都産科婦人科学会平成24年度学術集会「プレクリーゼで紹介となったバセドウ病合併妊娠の1例」坂田亜希子、関山健太郎、今井更衣子、上田優輔、山西優紀夫、伊藤美幸、江川晴人、高尾由美、山本伸一、北岡有喜、徳重誠、高倉賢二。2012年10月21日。京都市
国内学会	京都周産期カンファレンス「意識消失発作と胎児機能不全から診断された胃癌合併妊娠の1例」上田優輔、江川晴人、坂田亜希子、今井更衣子、山西優紀夫、伊藤美幸、関山健太郎、高尾由美、山本伸一、北岡有喜、徳重誠、高倉賢二。2012年10月27日。京都市

□ 投稿論文など

	タイトル・著書・雑誌名・著者
Pathology-Research and Practice	Peutz-Jeghers syndrome-associated atypical mucinous proliferation of the uterine cervix: A case of minimal deviation adenocarcinoma('adenoma malignum')in situ, Pathology-Research and Practice 208(2012)623-627,Miyuki Ito,Sachiko Minamiguchi, Yoshiki Mikami, Yusuke Ueda, Kentaro Sekiyama, Tetsuro Yamamoto, Kenji Takakura
日本臨床	IV卵巣がん 10. 卵巣がんの治療 2) 外科治療 e.後腹膜リンパ節郭清術。日本臨床 70(臨時増刊4:婦人科がん最近の研究動向):581-588, 2012. 高倉賢二
がん患者ケア	婦人科がん治療の副作用と対策、がん患者ケア、Vol.6 No3、2013年、1・2月号、p35-42.. 関山健太郎、山西優紀夫、高尾由美、江川晴人、高倉賢二
治療薬ハンドブック2013	治療薬ハンドブック2013、44、女性生殖器用薬(総説) p765-768. 関山健太郎